

進路だより～2学期号～

明星第 161 号

令和 5 年 12 月 1 2 日

キャリア支援部

今回の進路だよりは、4, 5 年前に本校の高等部理療科を卒業された先輩からのメッセージ特集号です！！

【卒業生 A さん 女性】

卒業後、訪問マッサージ会社へ就職

○就職して良かったこと：「ありがとう」「マッサージ楽しみにしてるよ」「良くなってきてるよ」就職して以降、この言葉たちをたくさん聴けるのが、1 番良かったし、やりがいがあるなと感じました。

○就職して辛かったこと：辛かったというより、苦労したのは、施設や個人宅にマッサージに伺う時に、間取りや場所を覚えることです。私の場合は特に視野が狭いため、部屋を間違ったり、途中で置いてある荷物にぶつかったりしています。

○これを学んでた方がいいと思うこと：マッサージはもちろんですが、最近は、リハビリテーションも需要が高くなってきているため、そこも一生懸命学んだ方がいいと思います。あとは、トランスファーや体位変換など、介助部分も覚えてると現場では役に立ちます。

【卒業生 B さん 男性】

卒業後はデイサービスであん摩マッサージ指圧師で機能訓練士として勤務し、施設利用者に対してマッサージや機能訓練などを提供していました。同時に、自宅兼治療院の開業準備も進め、1 年間はデイサービスと治療院を兼業していました。その後、4 年間勤めたデイサービスを辞め、本格的に治療院の運営に専念し、現在は約 1 年 7 ヶ月になります。

あはき師になって、お客様の不調や痛みが改善され、笑顔になっていただける瞬間がやはり一番嬉しくて、この職業を選んで良かったと思います。一方で、思ったような成果が出せなかった場合は、自分の実力不足を痛感させられます。しかし、基本的にはお客様に喜んでいただける仕事なので、非常にやりがいを感じています。一番つらいのはお客様の来店がないことで、経営面で不安になる時です。開業する際は、心に余裕を持って経営できるよう、十分な準備と資金を用意することをお勧めします。

まずは資格を取得するための勉強が必要ですが、将来を見据えてしっかりと技術の基礎を身につけておくことが重要です。基礎があれば、卒業後も独学で技術を向上させることができます。解剖学や東洋医学、様々な病気に関する知識などは、卒業後も多くの場面で活用しています。特に禁忌事項や禁忌部位、感染対策など、事故を起こさないための知識は確実に習得しておくことが重要だと思います。

私のお客様は治療院ではなく施術者に付くものだと考えています。私たちは生涯学びの

日々を送りながら、お互いの夢や野望に向かって切磋琢磨し、頑張っていきましょう。
以上です。

【卒業生Cさん 女性】

こんにちは。メッセージをお送りします。拙い途切れ途切れの文章ですみません。
私は今福岡の視覚障害者センターで自立訓練を受けています。あ・は・き師資格取得後は延岡ライトハウスで施術をしていました。しかしその後コロナが大流行。思うように仕事ができず、その上、目もどんどん見えづらくなり、不安いっぱいの毎日を過ごしていました。そんな時に福岡の視覚障害者センターのことを知りました。その施設は日常生活に関連したいろいろな訓練をしてくれる施設です。私も自立した生活を送りたいと願い、福岡に行くことを決心しました。

福岡に来た当初は1人でどこにも行けませんでした。歩行訓練のおかげで今では天神や博多に1人で行けるようになりました。また、ロービジョン訓練のおかげで読むのも諦めていた文字が少しずつ読めるようになりました。その先生の口癖が『諦めたら負け、やったもん勝ち』です。同じ訓練を受けている人たちを見てもつくづくそう感じます。あきらめない人はいっぼずつ前に進んでいます。私はその人たちの頑張りを見ていつも勇気と元気をいただいています。私は覚えが悪くゆっくりコースですが、焦らなくていいんだよと先生に励ましていただきます。やっているとどんどんできることが増えてきました。本当に自立訓練を受けて良かったなと感謝しています。

私の訓練も今年で終わります。帰ったら仕事をしないといけません。マッサージには癒し効果があります。触られることによって幸せホルモンオキシトシンの分泌が促されるといいます。私も来てくれた患者さんがここに来ると元気になった。癒やされたと言っていただけのような治療院を目指して頑張りたいと思います。

皆さんも何事もあきらめず困難があっても、ピンチはチャンスと思って困難を乗り越えてください。必ず明るい未来が待っていますよ。

【卒業生Dさん 女性】

- 卒業後、介護施設に就職。
- 喜びは、うとうとと眠りにつかれた時、リラックスして頂けているのかな？と感じる瞬間。
- 苦労ご高齢な方々なので力量、揉み方等、ご本人に問いかけ、選択して頂き、施術している。急変等のサインを見逃さない様、様子観察を怠らない様、心掛けています。
- 備えておいた方が良い力。

話の傾聴、思いに寄り添う、症状軽快に導くには自身の心身の健康、体力、気力が必要なのでは？と感じている。

【卒業生Eさん 男性】

(略歴) はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師免許取得後、治療院に就職し約3年勤めました。その後、治療院を開業しました。

(やりがいや喜び)

生活に支障が出る痛みや、日々の疲れ・ダルさがあった方が、「痛みがなくなった!」「調子がよくなった!」と、言って頂けたときに、やりがいを感じています。次回予約を入れていただいたときや、「また来るね」など、声をかけていただいたときには、また次も頑張ろうというモチベーションにもなっています。

(苦勞したこと)

開業するにあたり、レセプト業務や経営に関する事など、わからないことだらけで猛勉強しました。笑

(後輩へのアドバイス)

わたしは毎回、患者さんがどうして欲しいのかなど、しっかり話を聞き要望に応えられるよう、患者さんに寄り添った施術をするように心がけています。みなさんも患者さんに喜ばれる施術師になれるよう、頑張ってください。

【卒業生 F さん 女性】

(卒業後の略歴)

○卒業後、鍼・灸・マッサージ開業。しかし、腰ヘルニアのため、半年で休業。

○卒業後9ヶ月? MRT 宮崎放送にて事務の契約社員で入社。

4年後、契約満了で退社。

在校生へのメッセージ

私の場合、持病の腰ヘルニアが悪化し、医師から腰を使う仕事はダメだと言われ、経験のあった事務の仕事で勤務しました。事務職として、視覚障害は苦勞が多くありました。パソコン画面の文字を大きくして、分からない時は周りの方々に助けてもらい、感謝しながら勤務していました。会社に入社できたのは、いろんな資格を取得していたからだと思います。特に、パソコンでのワードやエクセルの資格を持っていたことが大きな採用理由でした。資格取得が厳しい場合は得意になって、採用面接の時に「できます!」と言えるようになるといいです。もしもの時のために、いろんな資格や得意なことがあると、就職に有利です。

・なりたい大人になるために、たくさん勉強しよう。

・学校は「まちがえていい場所」です。

周囲の人に助けや協力を求めること、失敗すること、この二つを恐れずに、行動してください。感謝の気持ちも忘れずに。

応援しています。

以上、今回は5名の先輩方より在校生へ向けてのメッセージを頂きました。今後も、進路
だよりでは、理療科だけでなく、高等部普通科の先輩方からもメッセージを頂き、在校生の
皆さんに紹介して行く予定です。